



昭和九年年 岡山一中昭九会

- 開催日 20年4月26日
- 会場 えきまえミヨシノ
- 参加者数 3名

昭九会は昭和28年結成、会費制としていたこともあり、数十名が年2回集合し往時をなつかしく語り合った。北山基会長亡き後は、草信世話人が努力してくれているが、元気な生存者も減少し僅か数名となり淋しい限りであるが続けていくつもりである。

(田中 武彦)

昭和十三年卒 昭一三会

昭和8年4月、角帽と七ツばたんをピカピカさせながら、天下の名門岡山一中に入學した25名の美少年も既に米寿を過ぎ、後期～末期高齢者と愚にもつかない称号を付けられては居るものの、写真の如く往年のままの姿で16名参加しました。次は卒寿同期会ながらこれも一気に卒業してしまおうと一同意気軒昂。世の盛衰を全く余所にして次回

の再会を約して解散。
国言葉 大正一桁 集ふ秋
(田村 甫)



昭一三会米寿同期会 平成19年9月23日
プラザホテル 参加者16名 同伴1組

昭和十五年卒・十四年修 いちご会

昨年5月15日以降は皆さん元気でおられるようで、85歳の人生をこれからも頑張って生きていきましよう。来年は米寿を迎える人もおられるでしょう。又再来年は卒業70周年を迎えるので、何か特別な行事でもと考えていますが、



平成19年5月15日
えきまえミヨシノ 参加者15名

ご意見をお知らせ下さい。
(辻 五朗)

東京

大きく引き伸ばした写真5枚(ユリ、花みずき、溪流)別の人から大きな鳥城の写真2枚が展示されミニ写真展となる。またカメラの往年の名機の話しに花が咲く。一方自作の漢詩2編が紹介され、内容特に難しい漢字の説明があり、また植物名の難しい漢字や最近の簡体字の話しが続く。昔話しに大笑し、最後に校歌を歌い、来年の再会を期し、散会。(辻 高弘)



平成19年11月15日
学士会館 参加者9名

昭和十六年卒 岡山一中一六会

- 開催日 19年11月16日
- 会場 小石川後樂園内涵徳亭
- 参加者数 5名

在京者で「一中一六会」という親睦団体を作り、昭和60年頃から平成9年まで年1回、その後は規則的に5月、11月の16日に前記「涵徳亭」

で多い時は15名の出席を見ていたが、最近は全員80歳を超え、今まで通りの形で会を維持して行くことは困難であると出席者一同意見一致し、本日をもって一六会を解散することを決めた。幹事の保管している会の残余財産三萬五千円を朝日高校同窓会に寄付することとする。

以上の次第で一六会は解散したが、当日出席の5名、小阪眞彦、豊田正敏、永原貞郎、延原裕彦、石川義夫は今後5月16日、11月16日に昼飯会を続けることを約束した。この顔ぶれは常に時事問題などで侃侃諤諤の議論をしているのである。(石川 義夫)

昭和十八年卒・十七年修 岡山一中歩会有志縁会

- 開催日 19年9月20日(木)
- 会場 梅田「多幸梅」
- 参加者数 8名

卒業以来65年の歳月が流れたがお互い鳥城健児の誇は失わず会えば時局を憂い閉塞感の打破に雄叫を擧げている。常連は藤田温会長・下山文彦・田淵元・服部角男・浜田宏・深井泰・藤本昇と時々広坂敬一・橋本節二郎・岡山本部からは三宅章夫会長・武居俊郎の諸兄が遠路参加してくれるのも嬉しい。

(光田 博文)

昭和十九年年 岡山一中六二会

入学時250名が現在137名になって居り、その内約22%が出席した事になります。会は終始和やかに楽しく鳥城の石垣の上での5年間の多感な青春時代の思い出や、苦しかった戦時中の生活、欠席した学友の消息等で閉会時間となり校歌「世の盛衰を余所にして」を合唱して終会しました。その内の元気な半数は2次会でカラオケなどで大いに老春を謳歌して午後6時散会しました。(柳井 誠二)



平成20年4月6日
ホテルグランヴィア岡山 参加者29名

昭和二十年四年 岡山一中鳥有会

岡山総会は4月13日に開き、会員37人と夫人2人が集まった。今年は「ねんきん特別便」や「後期高齢者：？」など話題が豊富であったが、